

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 5月24日更新

事務事業名	天文台活用事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	3 教育の健康	所属部	教育委員会	課長名	岐部 則夫
	施策	10 生涯学習の推進	所属課	生涯学習課	担当者名	宮本 拓摩
	施策の柱	37 学習の啓発と参加機会の提供	所属班	図書館	(内線)	2536
予算科目	会計一般	款	項	目	事業連番	根拠法令
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 28年度で終了 <input type="checkbox"/> 28年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		
結果優先度評価結果 : ② コスト削減優先度評価結果 : ①						

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	毎週土曜日の夜に西合志図書館の2階天文台にて一般公開の星空観望会を開催している。対象は合志市民に限らず、市外からも広く受け入れている。観望会参加は無料。定期の観望会のほかに、季節の天文現象に合わせた特別観望会(不定期)も開催。また、夏休み星空教室なども実施している。天文台の運営は基本的にボランティアによる天文台指導員が行っており、観望会や各種イベントの際には、天文についての説明・望遠鏡等の解説をする。平成29年4月1日付けで合志市立図書館の指定管理者制度を導入し、制度移行に伴いこの事業は市直営ではなくなった。
【業務の流れ】	(平成28年度までは市直営)年間計画の作成。定期・特別観望会、イベントの開催。天文台広報チラシ(毎月)の作成。団体からの依頼星空観望会への対応。
【主な予算費目】	費用弁償(天文台指導員)
【意見や要望】	利用者からは、もっと市民にその存在や活動をアピールしてもらいたいとの意見が寄せられた。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO)	29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
毎週土曜日の定期観望会(●人参加)のほか、特別観望会等(553人参加)を行った。合計●人の参加があった。	行政改革大綱や集中改革プランにより平成29年度より指定管理者制度を導入。平成29年度以降、市立図書館は指定管理者が運営する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 開催日数	日 11716) 図書館管理運営委託事業」に統合されるため。
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
天体に興味がある市民及び周辺自治体住民	(単位)
	→ ア: 市民 人
	→ イ: 県民 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
多くの人に天文台を知ってもらい、利用してもらう	(単位)
	→ ア: 利用者数 人
	→ イ: 人
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠	総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	実績(決算)	実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	28年度 実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア	日			35	43				
	イ									
② 対象指標	ア	人			60,100	61,022				
	イ	人			1,790,000	1,774,109				
③ 成果指標	ア	人			1,400	943				
	イ									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円			0	0			
		(A)のうち指定経費	千円			0	0			
		(A)のうち時間外、特勤	千円			0	0			
	人件費	正規職員従事人数	人			0	2			
		延べ業務時間	時間			0	730			
	(B)人件費計	千円			0	0				
	トータルコスト(A)+(B)	千円			0	0				

事務事業名	天文台活用事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	---------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 特別観望会は天候不順が続き、参加者数が伸びなかった。
	②29年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 天候次第ではあるが、例年同様定期観望会の開催をする予定である。また、特別観望会等を予定しているので目標達成余地あり。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 さらに天文台の存在や活動をアピールし、市民をはじめ多くの方々に利用してもらう。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 指定管理者制度の導入により削減の余地あり
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 指定管理者制度の導入により削減の余地あり
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 無料で公開しているため。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 指定管理者制度の導入により見直しの余地あり

3 評価結果の総括 (CHECK)

ボランティアの指導員の登録者が伸びず、イベントの際に対応が行き届かないこともあるが、知識をもった指導員のもと、多くの市民に高度な天体観望会及び情報を提供できている。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						